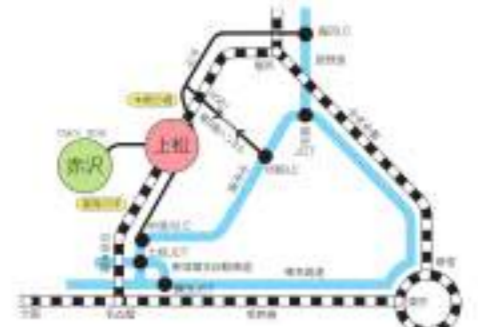


木曾の山々の歴史と赤沢自然休養林

木曾のひのきは、平安時代から広く知られ、安土桃山時代には伏見城などの城を築く材料として利用されるようになりました。江戸時代になると各地で城下町が繁栄するようになり、木曾の山々から木々が大量に切り出され、使われるようになりました。その結果、木曾の山は大変荒れ、木々も少なくなりました。そこで、木曾の山を管理していた尾瀬藩は「木一本、首一つ」という厳しいお触れを出して山の木を守り始めました。その甲斐があって、自然に芽生えた木々が生き茂る木曾の山々が蘇りました。明治時代から木曾の山々の大部分は「国有林」と呼ばれる皇室の財産となり、太平洋戦争後は「国有林」として管理されています。戦後の復興と経済成長により再び木々が大量に切り出されるようになりましたが、上松町の赤沢地域は「林木道徳会資源保存林」「植物群落保護林」に指定され保護されています。また、赤沢地域は昭和44年に日本で最初の「自然休養林」に指定され、昭和57年には「第1回全国森林浴大会」が開催され、「森林浴発祥の地」とも知られています。昭和62年には「森林鉄道」が再び走りだし、平成8年には、車椅子に乗ったままで利用できる車両や遊歩道「ふれあいの道」が整備され、からの不自由な方からご年配の方まで、とたたでも気軽に森林浴が楽しめる休養林として年々訪れる方が増えています。



赤沢自然休養林DATA	
面積	760ha
高さ	1,080m~1,566m
平均樹齢	300年
年平均気温	7.9℃

木曾・赤沢の歴史

- 天正18年(1590) 豊臣秀吉、木曾氏領有地を直轄領とする。
- 慶長5年(1600) 徳川家康の直轄領となる。強盗伐採始まる。
- 元和元年(1615) 尾張柳川領となる。築城、造船、土木用材等伐出。
- 明暦3年(1657) 江戸大火、復興材を伐出。
- 寛文5年(1665) 留山、黒山を設ける。赤沢ひのき林留山となる。(當時は小川村小川入産山を称す)
- 元禄年間(1688~1703) 小川入赤沢留山ひのき林の強度伐採。
- 至永6年(1706) ひのき、さら、あすなろ、こうやまきの四木、停止木となる。後にあすなろも停止木となる。(木曾五木)山林防除器。(富林)
- 明治12年(1879) 帝室林野御料林となる。
- 明治22年(1889) 帝室林野御料林となる。
- 明治39年(1906) 神宮御料林。
- 明治44年(1911) 中央本線開通。
- 大正5年(1916) 小川森林鉄道完成。神宮御料林施設開始。
- 昭和22年(1947) 林政統一。国有林となる。
- 昭和44年(1969) 全国初の自然休養林に指定される。
- 昭和50年(1975) 森林鉄道廃止。全線自動車輸送となる。
- 昭和57年(1982) 第1回森林浴大会開催。
- 昭和58年(1983) 「21世紀に残したい自然100選」に選定される。
- 昭和61年(1986) 全国森林浴の森に選定される。
- 昭和62年(1987) 森林鉄道復活。トムソーヤクラブ村 木曾・上松(開村)。
- 平成8年(1996) ふれあいの道完成。森林鉄道の新型機関車完成。
- 平成13年(2001) 環境省「かおり風景100選」に選定。
- 平成14年(2002) 「遊歩百選」に選定。
- 平成17年(2005) 第62回伊勢神宮式年遷宮奉幣給祭が行われる。
- 平成18年(2006) 国の「森林セラピー基地」に認定される。
- 平成19年(2007) 森林セラピー基地赤沢自然休養林森林浴ランドオープン。
- 平成26年(2014) 森林鉄道遺構が林業遺産に指定される。
- 平成28年(2016) 木曾悠久の森制度開始。
- 赤沢自然休養林、森林鉄道が日本遺産認定。

2022.04



赤沢自然休養林散策マップ



(一社)上松町観光協会
赤沢渓谷を美しくする保護管理協議会
〒399-5601 長野県木曾郡上松町大字上松159-3
TEL:0264(52)1133 FAX:0264(52)4180
<ホームページ>http://kiso-hinet.jp/

木曾森林管理署
〒399-5604 長野県木曾郡上松町大字 TEL:0264-52-2083(平日のみ)

お願い

- 赤沢自然休養林までの道は、国有林の中を通過しています。貴重な木曾ヒノキの森、自然を守るため次の事項をお守りください。
- 非常に狭い道ですのでスピードの出しすぎ・落石・落枝等にご注意ください。また、道沿いの待避所は対向車を避ける場所です。駐車場ではありません。お車の駐車はご遠慮下さい。
 - 国有林内はキャンプ禁止です。また、焚き火など火の取扱いも禁止です。動植物・昆虫・魚等の採取も禁止です(禁猟・禁漁区)。場合によっては、延焼されますのでご注意ください。
 - ゴミの持ち帰りにご協力ください。ゴミのポイ捨て等の影響で動物が餌付く可能性があります。タバコのポイ捨ては山火事の恐れがあります。
 - 赤沢自然休養林へのベットの持ち込み自粛にご協力下さい。(外来植物の繁殖防止、野生動物とペット双方の病気感染防止等のため)
- 皆様のちょっとしたマナーで大切な自然が守られます。ご協力お願い致します。

赤沢自然休養林は標高1,080m以上です。天候が変わりやすいため、要領に耐えられる服装でご出かけ下さい。

赤沢自然休養林では、皆様の安全と健康を第一に、環境にやさしい形で自然体験の機会を提供し、自然環境の持続的活用を行っています。貴重な自然を残していくためのご協力をお願いします。

森林セラピー基地 信州木曾・上松 赤沢自然休養林

赤沢美林ガイド

木曾の山にしっかり根をおろした森の文化。自然と人の素晴らしい関わりを伝えて。

今では国家的な財産ともいえる赤沢美林の長い歩み。それとともに発展してきた林業発展の歴史。また、昭和50年まで木曾の山中で活躍してきた森林鉄道の軌跡など、森のなかで脈々と継がれてきたさまざまな物語。貴重な資料や展示品が、神秘に包まれた森の文化や自然の大切さをあらためて教えてくれます。



ボールドウイン号
本村運搬に活躍したアメリカ製蒸気機関車。大正5年から昭和35年まで、約42万キロを走り抜いた実際の車輪が、古き時代を思い出させる展示品です。

木曾五木	ヒノキ(ヒノキ科)	サワラ(ヒノキ科)
森林浴を楽しむながら木曾を代表する五木の名前や特徴を覚えよう。	あつぱつとした針の並びが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。	さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。
ネスコ(ヒノキ科)	アスナロ(ヒノキ科)	コウヤマキ(コウヤマキ科)
あつぱつとした針の並びが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。	あつぱつとした針の並びが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。	あつぱつとした針の並びが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。さわやかな香りが特徴。

「木曾の山々」の歴史と「赤沢自然休養林」の自然環境を、写真とイラストで紹介。赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。

赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。

赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。

赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。赤沢自然休養林の自然環境を、写真とイラストで紹介。



赤沢美林



森林資料館
独自の木曾式伐木運材法や、近代化の象徴だった森林鉄道。またチェーンソーの導入など、林業の歴史を資料や写真で紹介。木曾谷の動植物も展示しています。



森林鉄道記念館
森林鉄道の歴史の資料や写真を展示。大正4年の敷設から、最盛期には木曾谷に57線、延長428キロにも及んだその活躍ぶりが分かりやすく解説されています。



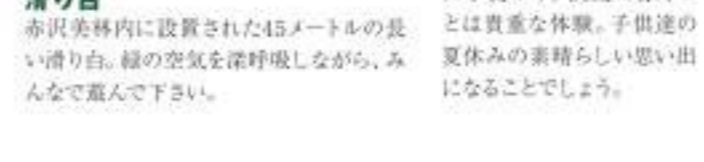
森林鉄道の軌跡
手押しのトロッコから、蒸気機関車の導入、そしてディーゼル機関車の出現まで、その発展と果たした役割は日本の林業を支えるもの。注がれた数々の英知と情熱に、誰もが驚かれることでしょう。



夏のトムソーヤクラブ
夏だけ開かれる自然体験村。森林鉄道に体験乗車したり、木工教室に挑戦したり、自然の中で元気に遊ぶ大人気のイベントです。



渓流広場
赤沢美林内を流れるきれいな渓流が、夏になるとプールに早変わり。渓流で泳ぐことは貴重な体験。子供達の夏休みの素晴らしい思い出になることでしょう。



滑り台
赤沢美林内に設置された45メートルの長い滑り台。緑の空気を深呼吸しながら、みんなで楽しんで下さい。

赤沢美林自然図鑑

ここでは春から秋にかけて森林内で見られる代表的な植物などを写真で紹介。チョービの学名や分布コース図を載せたり、採り出しやすさの目安も、赤沢自然休養林ならではの楽しみ方です。

ヨシツバキ(4月～5月)	バイカウツリ(4月～5月)	アカササギ(4月～5月)
ヨシツバキ(5月～6月)	オヤマソコバ(5月～6月)	コアサザ(5月～6月)
ヨシツバキ(6月～7月)	オヤマソコバ(6月～7月)	コアサザ(6月～7月)
ヨシツバキ(7月～8月)	シロモシ(10月)	マルバネキ(10月)
ナナカマド(10月)	コミスジ	ニホンカモシカ

赤沢美林散策マップ

自然が満喫できる、8つの散策コース。
たっぷりの緑の空気を深呼吸。

1.ふれあいの道(往復2.8km/60分)
車いすの方でも気軽に森林浴が楽しめるよう、段差をなくし、全線を橋と舗装路に整備したコース。



2.駒鳥コース(2.7km/70分)
御神木伐採跡やひのき大樹を通る森林浴のコース。丸葉橋～呑養淵～榎窪～走水へと通じます。



3.向山コース(2.0km/60分)
縄状に伸びた根とオオヤマレンゲ(6、7月)が観察できます。天候が良ければ見晴台から駒鳥の景観が望めるコース。



4.中立コース(2.1km/60分)
天然ひのき林の自生の様子が観察できるのがポイント。中立橋から中立台へ登り、丸葉橋へと下ります。



5.冷沢コース(3.3km/110分)
冷沢峠のヒノキは、散策コースの中で最も成長がよく見えます。



6.上赤沢コース(2.2km/80分)
多様な樹種を観察するのに最適なコース。ほうのき峠から旧(一)ベキュー会場までは人工林を観察できます。



7.溪流コース(1.5km/40分)
赤沢橋から美しい溪流を辿る初心者も気軽に散策できる最短コース。



8.溪流コース(姫宮ルート)(3.5km/120分)
溪流コースから赤沢左岸を辿り、恋恋の伝説が語り継がれ、記される姫宮神社までのさわやかな長距離ルート。



木道老朽化、通行不可



●各コースには数字掲示板が設置されていますので、地図と照合すればご自分の現在地が確認できます。
●各コースのm(メートル)表示は、●と●の区間距離です。
散策コースは、できるだけ自然をそのままにしています。散策はご自身で十分に気をつけてお楽しみください。お一人で散策される際には、音の届るものを身に付けてお楽しみください。
※駐車場料金所でクマ鈴の貸し出しも行っていきます。